

日本財団補助金による

1996年度財団法人日中医学協会助成報告書

-学術交流に対する助成-

平成8年9月20日

財団法人 日中医学協会
理事長 中島章殿

報告者氏名 岩山幸雄 
所属機関名 朝日大学 歯学部
職名 教授 年齢 60 才
所在地 501-02 岐阜県本巣郡穂積町穂積 1851
電話 058-329-1451 内線 _____
(フックスイン)

◎添付書類：講演集・シンポジウム写真等学会に関する資料

学会・学術交流の名称 日中歯周病シンポジウム (Sino-Japanese Periodontal Symposium)
テーマ 歯周病のリスクファクターほか
主催団体 日本歯周病学会・中国牙周病学会
代表者 本シンポジウム組織委員長 曹榮方 (北京医科大学教授) 副委員長 岩山幸雄 (朝日大学教授)
期間・開催地 1996年9月7日~9日 中国北京医科大学口腔医学院 報告庁
招へい・派遣目的 _____

I. 招へい・派遣研究者 人数 _____人

1) 氏名 (漢字) _____ 英文名 _____ 男・女
所属機関、職名 _____ 生年月日 _____
所在地 _____
電話 _____ 内線 _____
研究課題 _____

II. 滞在期間 自 _____年 _____月 _____日 至 _____年 _____月 _____日 (_____日間)

III. 助成金の使途内訳

助成金額 _____円
交通費 _____円 宿泊費 _____円 食費 _____円
雑費 _____円 他 _____円

・招聘・派遣研究者記入欄が不足の場合は別紙に追加添付して下さい。

IV. 主な滞在日程

V. 学術交流報告

本シンポジウムは、第5回中国牙周科学会と連携に行われた。初日の開会式では中国
政府衛生部 曹榮桂副部長、北京医科大学副学長 林志彬氏、口腔医学院 張震康院長、
日本歯周病学会理事長 長谷川 紘司教授、主催者である 曹采方北京医科大学教授がそれぞれ
歓迎の挨拶があった。基調講演は初日に 昭和大学 長谷川教授、華西医科大学 張教授
が行い、2日目には 大阪大学 岡田教授、北京医科大学 曹教授が行った。

一般発表は中国側と日本側から1人ずつの座長を出し、6題を担当する形式
で行われた。公式言語は英語であるが中国牙周学会会員の便宜をはかるため
中国側の発表は左右のスライドが常に英語と中国語というセットで報告された。
一般演題は50題のうち日本からは14題であったが中国牙周病学会(関連演題
が67題)献上発表された。

参加者は中国側が約120名、日本側からは39名(同伴者含む)であった。
今回は現在日本の大学に留学している中国の研究者3名、何濤氏(東医歯大)、
徐俊星氏(九州歯科大)、楊秋波氏(鹿児島大)が発表し、故郷に錦を飾った感があった。

2日目の閉会式には開会式と同じメンバーの参列を得て組織委員長 曹采
方氏、日本側からは 岩山 幸雄氏が謝辞を述べた。

3日目は中国牙周病学会会員とともに 医学院手配のバスで長城ほか
を訪問し、友好を結んだ。